



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安永

コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 浅井 裕久

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日

TEL 0595-24-2122
平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,135	△9.0	116	△68.3	130	△69.4	41	△75.8
26年3月期第2四半期	15,533	△8.0	366	11.4	425	42.4	170	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 10百万円 (△97.4%) 26年3月期第2四半期 404百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	3.45	—
26年3月期第2四半期	14.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	31,200	10,986	10,986	10,920	35.2	918.29
26年3月期	31,965	10,920	10,920	10,920	34.2	912.83

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 10,985百万円 26年3月期 10,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
配当金の内訳 記念配当 1円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△4.6	100	△83.7	130	△80.9	70	△81.3	5.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	12,938,639 株	26年3月期	12,938,639 株
27年3月期2Q	975,277 株	26年3月期	975,222 株
27年3月期2Q	11,963,396 株	26年3月期2Q	11,963,417 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成26年11月27日(木)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月の消費税増税に伴う需要の反動減が想定以上に長引き、夏場の天候不順も重なったことで、景気回復は足踏み状態が続きました。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、国内の自動車販売は消費税増税後の買い控えが長期化し、減少傾向が続きました。一方、海外においては特に北米市場での需要が堅調に推移しました。

このような企業環境下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高141億35百万円（前年同期比9.0%減少）、営業利益1億16百万円（前年同期比68.3%減少）、経常利益1億30百万円（前年同期比69.4%減少）、四半期純利益41百万円（前年同期比75.8%減少）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

【エンジン部品事業】

国内生産において増税の影響や海外の大口顧客向けの販売が減少し、利益面では海外生産拠点の立上げ費用等がマイナス要因となった結果、売上高100億39百万円（前年同期比15.2%減少）、営業利益36百万円（前年同期比93.5%減少）となりました。

【機械装置事業】

前年同期は低調であった自動車関連向け工作機械の売上が増加し、原価低減活動等により利益が改善した結果、売上高22億12百万円（前年同期比12.3%増加）、営業利益27百万円（前年同期は2億78百万円の営業損失）となりました。

【環境機器事業】

海外向けエアポンプ及びディスプレイシステムの販売が増加した結果、売上高16億96百万円（前年同期比9.8%増加）、営業利益73百万円（前年同期比7.1%増加）となりました。

【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高1億87百万円（前年同期比0.7%増加）、営業利益13百万円（前年同期比59.7%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億65百万円（前連結会計年度末比2.4%）減少し、312億円となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ14億77百万円（前連結会計年度末比9.2%）減少し、145億52百万円となりました。

この減少の主な要因は、現金及び預金の減少14億34百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億12百万円（前連結会計年度末比4.5%）増加し、166億48百万円となりました。

この増加の主な要因は、建設仮勘定25億12百万円や機械装置及び運搬具の減価償却の進行3億59百万円等による減少がありますが、リース資産14億15百万円、機械装置及び運搬具13億5百万円、建物及び構築物9億49百万円等の増加によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ12億5百万円（前連結会計年度末比9.3%）減少し、117億95百万円となりました。

この減少の主な要因は、短期借入金5億円の増加がありますが、未払金8億23百万円、支払手形及び買掛金3億81百万円、設備関係支払手形2億46百万円等の減少によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3億74百万円（前連結会計年度末比4.7%）増加し、84億19百万円となりました。

この増加の主な要因は、長期借入金10億48百万円の減少がありますが、リース債務14億19百万円等の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ65百万円（前連結会計年度末比0.6%）増加し、109億86百万円となりました。

この増加の主な要因は、利益剰余金96百万円の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当社グループの当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ14億18百万円減少し、28億21百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、33百万円（前年同期は27億34百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の減少額10億33百万円、減価償却費7億74百万円等の増加要因、及びたな卸資産の増加額11億91百万円、仕入債務の減少額3億73百万円、法人税等の支払額2億20百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、21億86百万円（前年同期は29億4百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出22億61百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、7億34百万円（前年同期は1億14百万円の増加）となりました。これは主に、セール・アンド・リースバックによる収入14億15百万円、短期借入金の増加額5億円の増加要因、及び長期借入金の返済による支出10億91百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想については、平成26年10月16日に修正しております。詳細につきましては、同日に公表しました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が176百万円増加し、利益剰余金が114百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,346	2,912
受取手形及び売掛金	6,713	5,669
商品及び製品	858	999
仕掛品	1,568	2,448
原材料及び貯蔵品	1,475	1,638
繰延税金資産	224	225
未収入金	259	182
その他	595	488
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	16,029	14,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,222	11,171
減価償却累計額	△6,099	△6,221
建物及び構築物(純額)	4,122	4,950
機械装置及び運搬具	24,056	25,362
減価償却累計額	△19,757	△20,116
機械装置及び運搬具(純額)	4,298	5,245
工具、器具及び備品	6,437	6,205
減価償却累計額	△6,058	△5,833
工具、器具及び備品(純額)	378	371
リース資産(純額)	-	1,415
土地	2,097	2,092
建設仮勘定	3,827	1,315
有形固定資産合計	14,725	15,391
無形固定資産		
のれん	22	14
その他	69	67
無形固定資産合計	91	81
投資その他の資産		
投資有価証券	644	707
繰延税金資産	153	130
その他	332	348
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,119	1,174
固定資産合計	15,936	16,648
資産合計	31,965	31,200

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,233	3,851
短期借入金	2,500	3,000
1年内返済予定の長期借入金	2,162	2,152
1年内償還予定の社債	60	60
未払金	2,735	1,912
未払法人税等	48	62
賞与引当金	429	367
工事損失引当金	15	10
設備関係支払手形	266	20
リース資産減損勘定	113	10
その他	435	346
流動負債合計	13,000	11,795
固定負債		
社債	1,160	1,130
長期借入金	6,417	5,368
繰延税金負債	0	55
役員退職慰労引当金	74	38
環境対策引当金	20	20
退職給付に係る負債	294	309
資産除去債務	74	74
リース債務	2	1,421
固定負債合計	8,044	8,419
負債合計	21,045	20,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	6,839	6,935
自己株式	△330	△330
株主資本合計	10,765	10,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221	274
為替換算調整勘定	50	△33
退職給付に係る調整累計額	△117	△117
その他の包括利益累計額合計	154	123
少数株主持分	0	0
純資産合計	10,920	10,986
負債純資産合計	31,965	31,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	15,533	14,135
売上原価	13,529	12,346
売上総利益	2,003	1,789
販売費及び一般管理費	1,637	1,673
営業利益	366	116
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	6	8
受取賃貸料	14	11
為替差益	125	33
還付消費税等	-	23
その他	26	23
営業外収益合計	180	107
営業外費用		
支払利息	50	54
社債発行費	19	-
減価償却費	16	21
その他	33	18
営業外費用合計	120	93
経常利益	425	130
特別利益		
固定資産売却益	4	2
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
減損損失	18	3
固定資産除却損	35	5
リース解約損	2	-
その他	0	-
特別損失合計	57	9
税金等調整前四半期純利益	373	123
法人税、住民税及び事業税	89	76
法人税等調整額	112	5
法人税等合計	202	81
少数株主損益調整前四半期純利益	171	41
少数株主利益	0	0
四半期純利益	170	41

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	171	41
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△3	52
為替換算調整勘定	236	△83
退職給付に係る調整額	-	0
その他の包括利益合計	233	△30
四半期包括利益	404	10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404	10
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	373	123
減価償却費	912	774
減損損失	18	3
のれん償却額	7	7
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△1
有形固定資産除却損	35	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△348	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12	-
前払年金費用の増減額(△は増加)	85	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	△36
賞与引当金の増減額(△は減少)	27	△61
受取利息及び受取配当金	△13	△16
支払利息	50	54
為替差損益(△は益)	△73	△3
売上債権の増減額(△は増加)	1,826	1,033
たな卸資産の増減額(△は増加)	△75	△1,191
仕入債務の増減額(△は減少)	△170	△373
前受金の増減額(△は減少)	△58	△84
未収消費税等の増減額(△は増加)	78	139
その他	251	△137
小計	2,938	250
利息及び配当金の受取額	13	23
利息の支払額	△52	△53
法人税等の還付額	16	33
法人税等の支払額	△181	△220
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,734	33
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	15
有形固定資産の取得による支出	△2,882	△2,261
有形固定資産の売却による収入	16	75
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△2	△10
その他	△35	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,904	△2,186

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400	500
長期借入れによる収入	1,300	-
長期借入金の返済による支出	△1,108	△1,091
社債の発行による収入	400	-
社債の償還による支出	△30	△30
セール・アンド・リースバックによる収入	-	1,415
配当金の支払額	△47	△59
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	114	734
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△44	△1,418
現金及び現金同等物の期首残高	3,764	4,240
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,720	2,821

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,832	1,970	1,544	15,347	186	15,533	—	15,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	396	—	396	247	644	△644	—
計	11,832	2,367	1,544	15,744	433	16,178	△644	15,533
セグメント利益 又は損失(△)	560	△278	68	351	8	359	7	366

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,039	2,212	1,696	13,948	187	14,135	—	14,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	78	0	85	252	337	△337	—
計	10,046	2,290	1,696	14,033	440	14,473	△337	14,135
セグメント利益	36	27	73	137	13	151	△34	116

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△34百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。